

第54回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

1 日時：令和4年2月18日（金） 15時30分～16時

2 場所：本庁3階 第三会議室

3 出席者：資料席次表参照

4 議事概要

（1）新型コロナウイルス感染状況等について【保健福祉局】

[感染症対策担当局長]

・感染状況・療養状況の分析

感染者数は、先週1週間に比べやや減少したが、日々400人程度の感染者が発生している状況。療養者は増加。大半は、自宅療養者だが、入院者も増えている。

・感染者の推移、療養状況

感染者数は、2月5日の872人がピーク。感染者の発症日別データでは、1月31日をピークに減少傾向となっており、市内の感染状況は、ピークを過ぎたものと考えが、日に300人から400人程度の患者が発生しているため、注意が必要と考えている。療養者は現在のところ全体で3000人を超えている。

・感染者の年代の比較

2週間毎のデータでは、当初、20歳代を中心に感染が拡大していたが、徐々にすべての世代に広がっている。特に、中学生以下、高齢者への感染が目立つ。

令和3年12月までの感染者のうち高齢者は11.2%、1月以降の高齢者の割合は9.8%と減少しているが、感染者数が多いため、1か月半で、12月までの高齢者の感染者を超えている。このため、高齢者は基礎疾患がある方も多く、感染することで入院となる可能性が高いため、医療提供体制への影響が懸念される。

・クラスターの発生状況

1月以降、高齢者施設等で22件、保育幼児施設、学校で26件と急増している。

高齢者施設等でのクラスターは、まずは、従業員の方が感染し、施設に持ち込むことによって発生している。職員の方は、今一度、少しでも症状があれば、仕事を休み、医療機関を受診するよう徹底してもらいたい。

また、施設管理者の方には、改めて、施設内であっても感染防止対策の見直しをしてもらいたい。例えば、マスクをきちんと顔にフィットさせて着用するなど、徹底してもらいたい。

・新型コロナワクチンの小児接種について

まず接種の対象は、5歳から11歳。ファイザー社製の小児用ワクチンを使い、合計2回接種する。接種間隔は3週間。

接種券は、2月末時点で、5歳から11歳の約44,000人に、3月7日（月曜日）に一括発送する。なお、発送日以降に5歳になる人は、5歳到達月の翌月上旬に順次発送

する。

接種券が届き次第、予約が可能。予約方法は 12 歳以上の接種同様に、県共通予約システムもしくは各医療機関に直接予約してもらうことになる。

接種開始は 3 月 11 日（金曜日）とするが、医療機関によっては多少日にちがずれる可能性があるため、確認のうえ接種してもらいたい。

市の集団接種会場での接種は実施しないが、小児科を中心とした市内およそ 90 箇所で行う。接種可能な医療機関のリストは 3 月 1 日更新の市ホームページに掲載予定。また、重症化リスクの高い対象者が利用する一部の医療機関においては、3 月 4 日（金曜日）から限定的に接種を実施する予定としている。

オミクロン株の流行において、岡山市でも感染者全体に占める子どもの割合は増えている。岡山市では市内全域で接種できる体制を整えているので、ワクチン接種について、保護者の方はお子さんとぜひ接種を検討してもらいたい。

・3 回目接種の現状について

これまでに 28 万 8000 人に接種券を発送している。2 月 18 日の時点で、接種完了は約 13 万 8000 人。これは接種券送付済みの人のうち 47.9%、市内全体の人口では 19.5%にあたる。

また、教育活動の継続のため、教職員等への積極的接種が政府の方針として示されている。岡山市では 3 回目の接種券を前倒して送付することに加え、1・2 回目接種時に、教職員、保育士、幼稚園教諭に先行して接種実施したため、教職員への接種は比較的順調に進んでいるものと考えられるが、現場での感染状況が深刻なこともあり、特別枠の確保、現場への周知徹底により、更に接種を推進しているところである。

・今後の見通しについて

今後、徐々に 64 歳以下への予約・接種が本格化すること、そして小児接種も始まることから、予約が取りにくくなることも想定される。重症化リスクの高い高齢者の接種は現時点で約 5 割に留まっている。

接種を行っている医療機関の関係者に聞いたところ、オミクロン株が重症化する割合が低いことや、副反応が気になる、接種していても感染する事例があるなどを気にして躊躇している人が多いのではないかとのことであった。ただ、未接種の人が重症化して例もあるので、ファイザー、モデルナいずれのワクチンも重症化予防に高い効果が示されていることから、ぜひ積極的な接種をしてもらいたい。

手元に接種券が届いた方は、すぐに接種ができるので、通常の社会生活を一刻も早く取り戻すためにも、速やかに予約と接種をしてもらいたい。

[市長]

資料の 6 ページで、進捗率 47.9%（接種券の送付済人数対比）とあり、その下に【参考】67.6%（1 月 31 日までの接種券送付済人数対比）となっているが、この「1 月 31 日

までの接種券送付済」は高齢者だけで、医療関係者等に接種券は送っていないのか。

[感染症対策担当局長]

医療関係者にも接種券は送っている。

[市長]

分母は医療関係者及び高齢者となって、接種が終わっている人が 67.6%ということか。それでは、上の 47.9%の分母はどうなるのか。

[感染症対策担当局長]

2月15日時点で発送した人と、1月31日、1月15日に発送した人の計28万8000人のうちに13万8000人が接種を受けているということで47.9%という数字になっている。

[市長]

進捗率ではどうか。

[感染症対策担当局長]

高齢者だけでは約5割となる。

[市長]

5割というのは高齢者全体を分母とした数字か。

[感染症対策担当局長]

65歳以上の方全体である。

[保健所長]

各局からの多大な協力を厚くお礼申し上げます。

年齢層では子どもと老人の感染者が増えているが、幸いそれぞれの年齢階層でも、発病時期を見るとピークアウトをしている状況である。ただ、相変わらず多数の患者が出ており、依然として保健所だけでは対応しきれない状況が続いているので引き続きのご支援をお願いします。

(2) 岡山駅前における人流動向について【政策局】

[政策局長]

この4週間、全体として人流は減少しているが、先週は多少増えている。

(3) 岡山市主催行事等の開催に関する方針について【危機管理室】

[危機管理監]

まん延防止等重点措置が延長される見込みとなったことを受けて、2月20日までとしていた現行の開催制限を、まん延防止等重点措置が適用される間、これは3月6日までの見込みとなっているが、それまで延長したい。

(4) 保育園等の対応について【岡山っ子育成局】

[岡山っ子育成局長]

保育所等の状況だが、全体 239 施設、これは公私立認可保育園、認定こども園、地域型保育事業所、市立幼稚園の総数になるが、そのうち直近の 2 月 17 日現在では全休園が 0、クラス閉鎖等が 10 施設となっている。

今後の対応としては、未就学児の感染者の症状はほとんどが軽症であり、クラス休園等について減少傾向であるため、保護者の就労確保等社会生活を維持する観点から、引き続き感染防止策に努めながら原則開園とする。また、園内で感染者が確認された場合は必要に応じて、家庭保育協力依頼、クラス閉鎖、休園等の対応をとる。

[市長]

これは 2 月 12 日が過去最大のクラス閉鎖等があったということで、現状では減少傾向であるという理解でいいか。

[岡山っ子育成局長]

はい。

5 本部長まとめ

発症日ごとの感染者数は、1 月 31 日をピークに減少傾向がみられ、感染者の発生はピークを過ぎたと考えられる。しかし、新規感染者は日々 300 人を超え、学校や保育園等で多数のクラスター感染が発生している。また、複数の高齢者施設でクラスター感染が発生するなど、重症化リスクの高い方の感染が増加していることから、病床使用率は 5 割を超え、油断できない状況になっている。

市民のみなさん、特に高齢者の方は、引き続きマスク、手洗い、3 密の回避など基本的感染防止対策の徹底をお願いする。また、少しでも症状があれば、迷わず医療機関を受診してもらいたい。

皆さん方のご理解とご協力により、ワクチンの 3 回目接種が進んでいるが、市民全人口ではまだ 2 割弱、重症化リスクの高い高齢者でも 5 割程度の進捗となっている。

医療関係者からワクチン接種についての市民の考え方について聞いたところ、オミクロン株は重症化する割合が低いということで若干安心している人がいることや、副反応を気にして接種をためらっている人がいるということであった。

しかしながら、重症化の中には未接種の方がいるということも報告されている。

ワクチン接種は、重症化予防や入院予防に対して高い効果が示されているところであり、是非積極的な接種をお願いしたい。

集団接種会場の予約も徐々に埋まってきている。接種券が手元に届いた人は、早めの接種予約をお勧めする。

学校や保育園等でも、多数のクラスター感染が発生している。子どもたちの感染拡大に対する取り組みが必要である。5 ～ 11 歳のワクチン接種については、接種券は 3 月 7 日（月）に発送する。市内およそ 90 の医療機関で 3 月 11 日（金）から接種を受けることができる。接種券が届き次第、予約が可能なので、保護者とお子さんで接種についてご検討してもらいたい。

子どもたちと接する教職員や保育士、幼稚園教諭の皆さんは、1・2 回目の接種も早く済ませて

おり、3回目の接種券が届いている方も多いと思っている。

また、住所地が市外で、岡山市内に勤務する教職員等も多くいるが、その方々のために接種券なしで接種可能な枠を2月中に1,000人分、集団接種会場に確保している。

子どもたちを感染から守るため、また教育・保育の機会を確保するためにも、早めの3回目接種をお願いしたい。

第54回新型コロナウイルス感染症対策本部会議

日 時：令和4年2月18日（金）

15時30分～16時

場 所：本庁3階 第三会議室

次 第

1 開 会

2 議 題

（1）現時点における対応状況等について担当局から報告

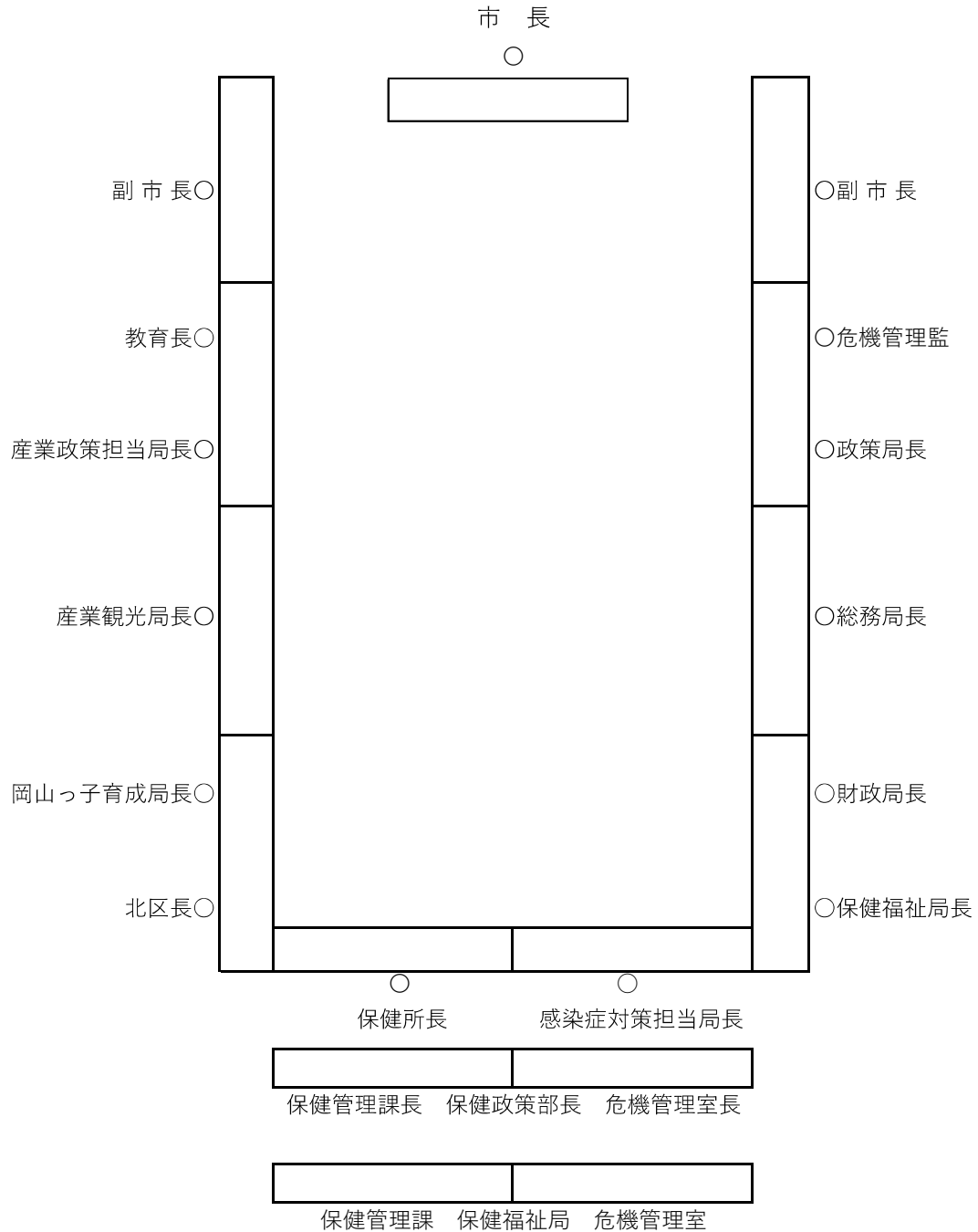
- ① 保健福祉局
- ② 政策局
- ③ 危機管理室
- ④ 岡山っ子育成局

（2）その他

3 閉 会

新型コロナウイルス感染症対策本部会議配席図

(R4.2.18 第54回)



(報 道)

【岡山市】感染状況・療養状況の分析(令和4年2月13日時点)

令和4年2月18日
第54回新型コロナウイルス
感染症対策本部会議資料
保健福祉局

区分	モニタリング項目		前回の数値	現在の数値	前回との比較
	過去1週間合計(月曜日～日曜日)		(2月6日時点)	(2月13日時点)	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	3,928人 (561.1人)	2,949人 (421.3人)	↓
		60歳以上 (総数に占める割合)	531人 (13.5%)	451人 (15.3%)	↑
	②区別 新規陽性者数	北区	780人 (判明分のみで)	992人 (判明分のみで)	—
		中区	450人 (判明分のみで)	634人 (判明分のみで)	—
		東区	377人 (判明分のみで)	512人 (判明分のみで)	—
		南区	277人 (判明分のみで)	321人 (判明分のみで)	—
	③新規陽性者における 接触歴不明者	数	627人 (判明分のみで)	125人 (判明分のみで)	—
		割合(③/①)	46.0% (判明分のみで)	40.8% (判明分のみで)	—
	④PCR検査数と陽性率(速報値)		10,208件 (38.5%)	7,873件 (37.5%)	→
	療養状況	⑤入院患者数		126人	204人
⑥宿泊療養者数			54人	61人	↑
⑦自宅療養者数			1,978人	2,979人	↑
⑧療養者数(人口10万人当たり)			308.3人	463.4人	↑

総括コメント

**感染が拡大しており
最大限の警戒が必要**

新規陽性者人口10万人当たり421.3人とやや減少。
年代別では、20代が減少する一方、10歳未満や60代以上の割合が多い。特に高齢者施設等でのクラスターが増加している。

新規陽性者増加速度の鈍化がみられるが、今後、重症者及び死亡者数増加が予想される。

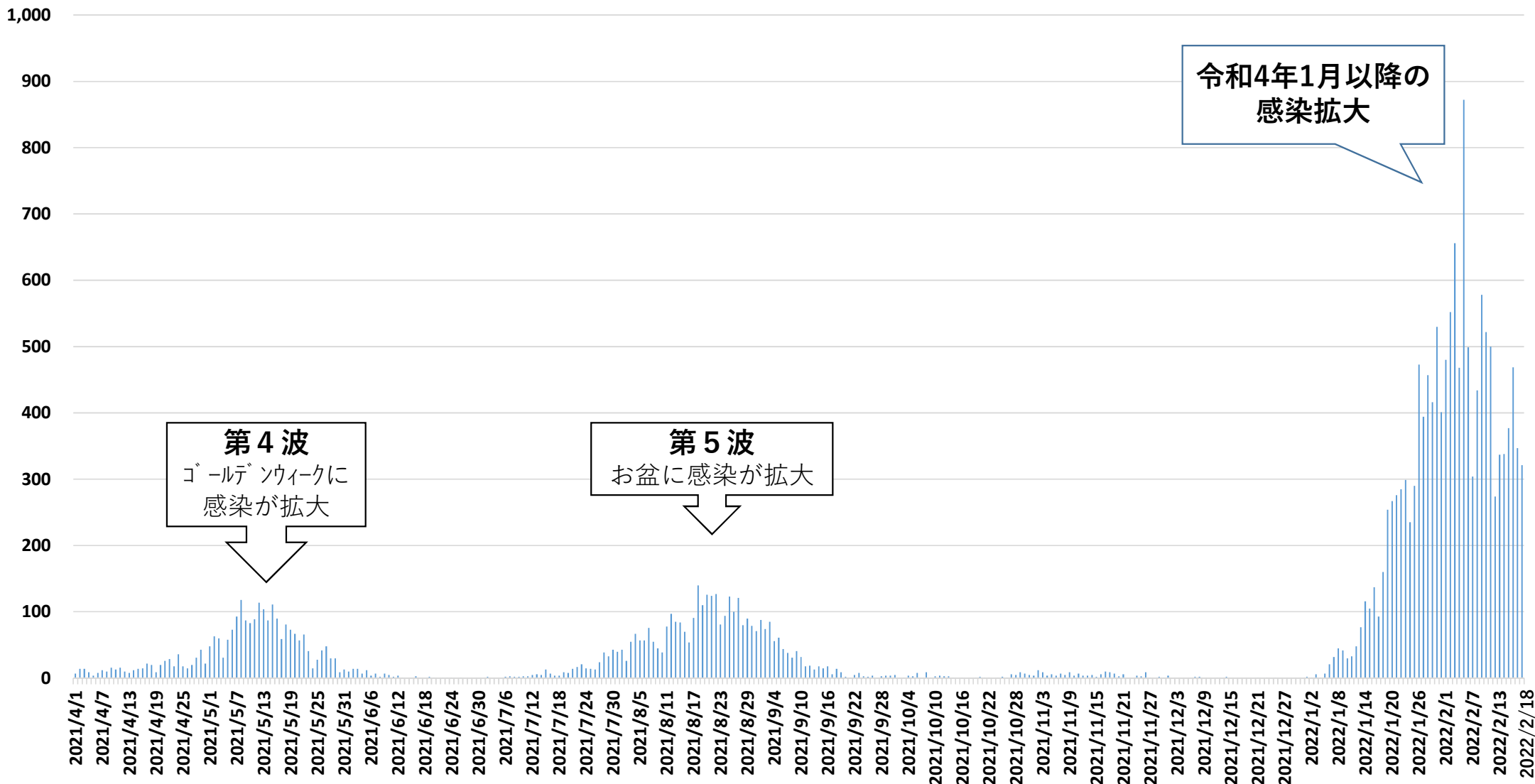
基本的な感染防止対策の継続と、体調が悪い時は出勤・外出を控えることが必要。

警戒レベル



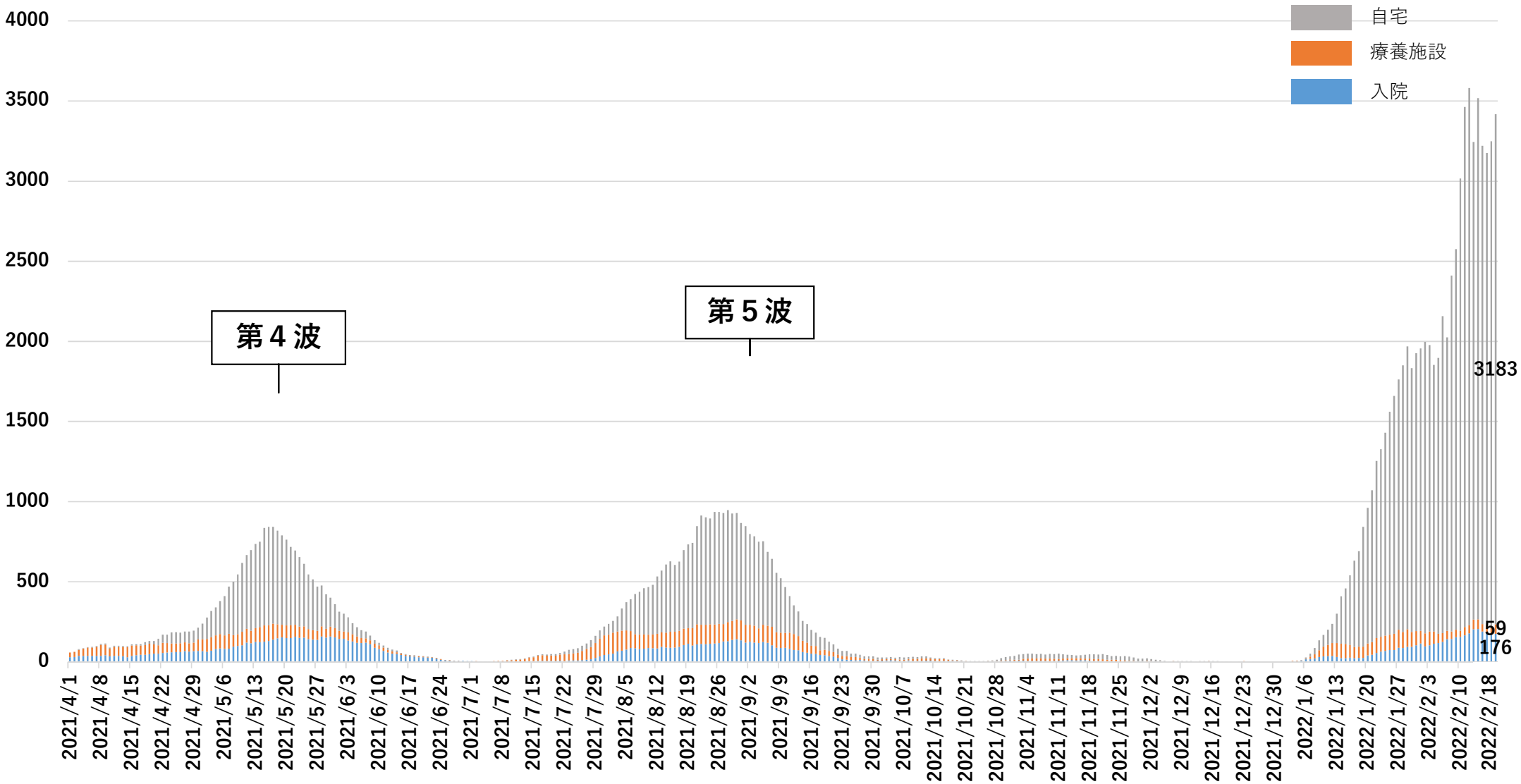
これまでの感染者の推移

R4.2.18発表分まで



感染者の療養状況（発表日別）

R3.4.1～R4.2.18発表分まで



感染者の年代の比較

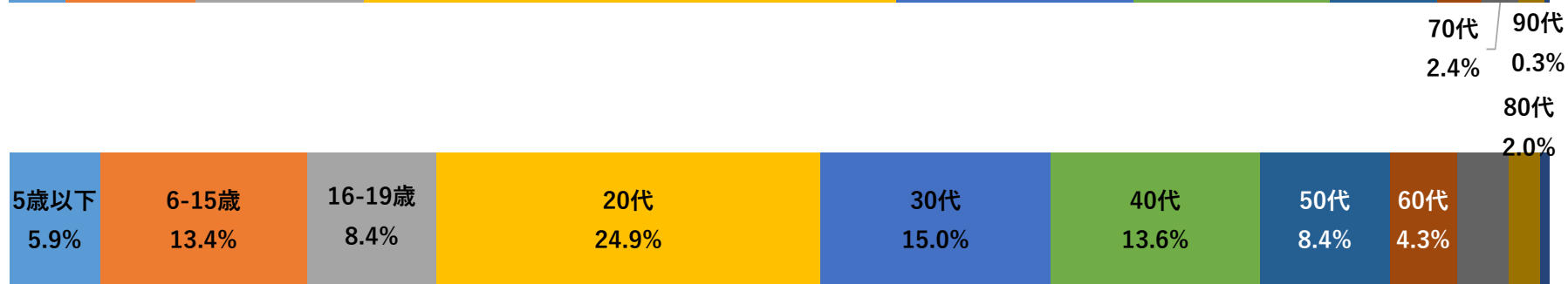
R4.2.13発表分まで

15歳以下と高齢者に感染が拡大している。

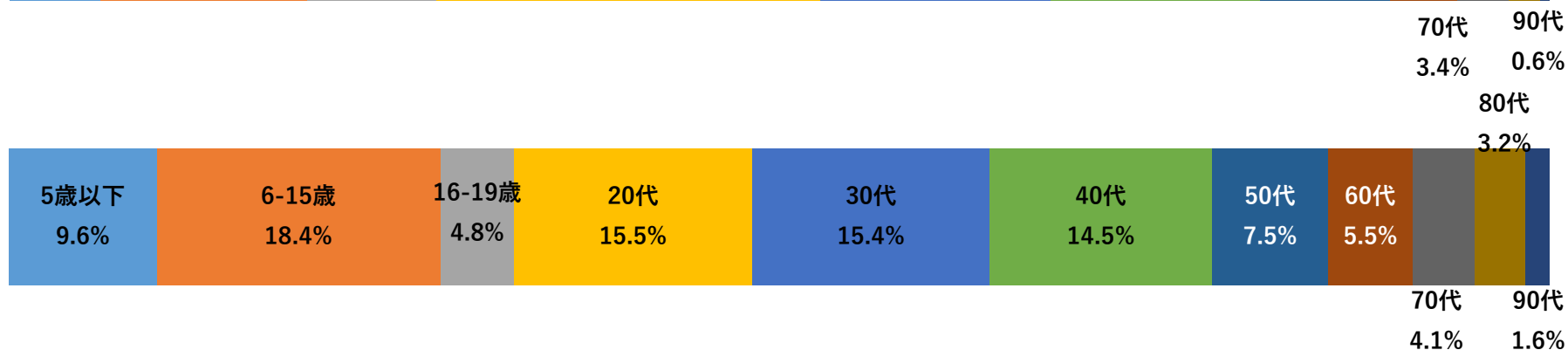
令和4年1月1日～
1月16日まで
感染者703人



令和4年1月17日～
1月30日まで
感染者4,429人



令和4年1月31日～
2月13日まで
感染者6,877人



高齢者（65歳以上）の感染者数比較

約1ヶ月半で、それまで以上の高齢者が感染している。

	感染者 全数 (人)	65歳 以上 (人)	割合 (%)	65～ 69歳 (人)	70代 (人)	80代 (人)	90代 以上 (人)
令和3年12月 まで R2.3から約21ヶ月間	7,873	885	11.2	183	418	222	62
令和4年1月 以降 R4.2.13まで約1ヶ月半	12,009	1,172	9.8	266	444	327	135

令和3年12月までのクラスターの発生状況

区分	発生数	感染者数
高齢者・介護施設	7	94
保育幼児関係	15	161
学校関係		
会社・事業所	19	273
医療機関	9	106
飲食店	19	237
合計	69	871

令和4年1月以降のクラスターの発生状況

R4.2.18現在

区分	発生数	感染者数
高齢者・介護施設	28	332
保育幼児関係	13	190
学校関係	14	198
会社・事業所	4	51
医療機関	9	202
飲食店	3	17
合計	71	990

小児（5～11歳）へのワクチン接種の開始について

接種対象者及び使用するワクチン

○小児（5～11歳）を対象に、ファイザー社製小児用ワクチンを用いて合計2回接種
（接種間隔：3週間）

接種券発送

○令和4年2月末時点において、5～11歳の接種対象者約44,000人に対して、
3月7日（月）に一括発送
※以降、5歳に達する方については、到達月の翌月上旬に順次発送

接種開始時期・接種医療機関

○接種券が届き次第、予約が可能

○接種開始は3月11日（金）から ※接種可能日は医療機関によって異なります

※予約は、県共通予約システム（インターネット予約）もしくは各医療機関へ直接

※コールセンター（0120-780-910）では、インターネット予約代行を実施

（インターネット予約を利用の医療機関のみ）

○小児接種については、約90の医療機関で接種

内訳 小児科 70 その他（内科、耳鼻科等） 20

※接種可能な医療機関は3月1日更新の市ホームページに掲載予定

※重症化リスクの高い対象者が利用する一部の医療機関においては3月4日（金）から限定的に接種を実施予定

岡山市においても新型コロナ感染症全体に占める子どもの割合は増えています。ワクチンの接種について、保護者の方はお子様と一緒にご検討ください

新型コロナワクチンの追加接種（3回目接種）の状況について

現 状

- 2回接種完了から6カ月以上経過する者を対象に、月2回、接種券を発送
- 2月15日には、8.4万人に発送（64歳以下6.9万人を含む。65歳以上への発送は概ね完了）
- 接種券送付済人数 **28.8万人（2月15日時点）**
- 追加接種の完了人数 **13.8万人（2月18日時点）**
- 進捗率 … **47.9 %（接種券の送付済人数対比） 19.5 %（市内全人口対比）**
【参考】 67.6 %（1月31日までの接種券送付済人数対比）

- 教職員等への接種についての対応は以下のとおり
 - ▶岡山市においては、2回目接種から6カ月経過後2週間以内に速やかに接種券を前倒し送付
 - ▶教職員、保育士、幼稚園教諭には、1・2回目接種を先行して実施 → 既に大半に3回目接種券送付済。接種実施中。
 - ▶住所地が市外で、市内勤務の教職員等のために接種券なしで接種可能な特別枠の確保（2月中に集団接種会場で約1,000人に接種）
 - ▶以上について、教育委員会等担当部署から現場に周知

今後の見通し

○今後、64歳以下への予約・接種が本格化し、小児接種も始まるため、予約枠が早く埋まることや接種可能日が減少することも考えられる。（直近の市集団接種会場でも満枠の日が増えている）

○接種券が手元に届いている人は、ワクチンの種類を問わず、速やかに予約・接種をお願いしたい。

参考 岡山市集団接種会場の空き枠状況
【2月 天満屋岡山本店】 1日540枠

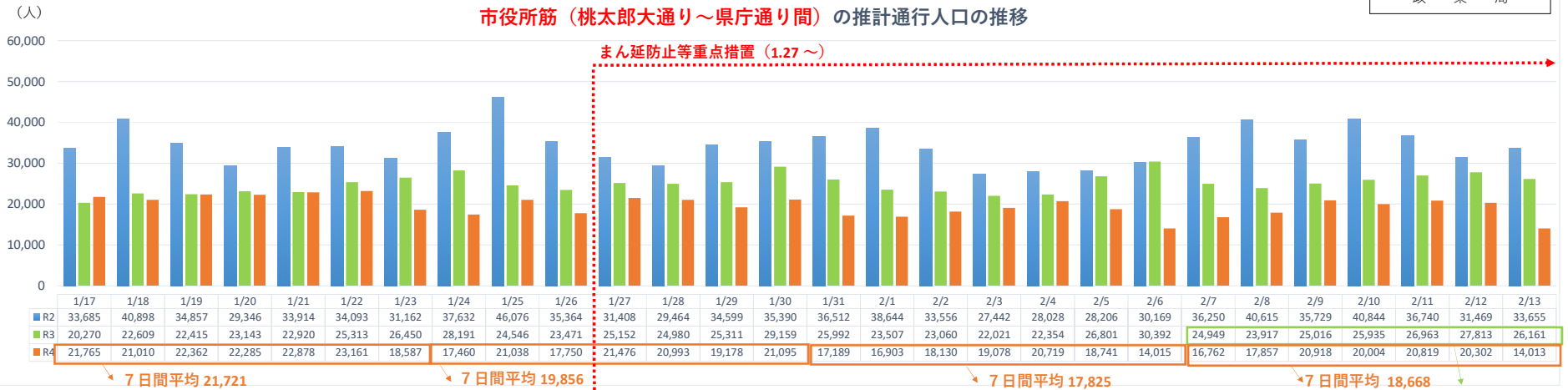
○...100枠以上
△...1-99枠
×...接種枠なし

	2月					
	18日	19日	20日	21日	22日	23日
ワクチン種類	モデルナ	ファイザー	モデルナ	モデルナ	ファイザー	モデルナ
予約の空き枠	×	×	×	○	×	○

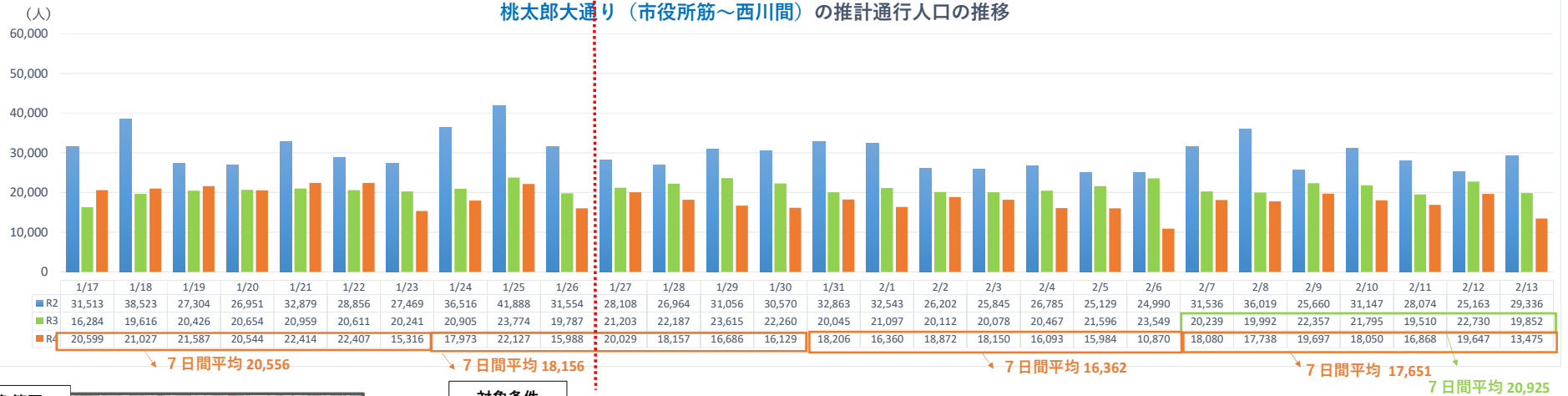
岡山駅前における人流動向 (GPS位置情報ベース)

令和4年2月18日
第54回新型コロナウイルス
感染症対策本部会議資料
政 策 局

市役所筋 (桃太郎大通り～県庁通り間) の推計通行人口の推移



桃太郎大通り (市役所筋～西川間) の推計通行人口の推移



対象範囲



対象条件

岡山駅前の市役所筋と桃太郎大通り (左記対象範囲) を0時～24時に通行した人数をそれぞれカウントした。
 ※「KDDI Location Analyzer」を利用して分析。auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計し、全人口に対するユーザーの割合から拡大推計し人数を算出している。
 データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」
 ※携帯電話基地局データに基づく推計滞人口には単なる居住者人口も含まれるが、GPSデータに基づく推計通行人口 (当該資料) には単なる居住者は含まれない。
 ※R4年は速報値での集計であり、後日、値が変わる場合がある。

岡山市主催行事等の開催に関する方針について

岡山市主催行事等について、開催の目安を下記のとおりとする。

記

1. 催物開催の目安

	「感染防止安全計画」を 策定するイベント（注1）	「感染防止安全計画」を 策定しないイベント
人数上限（注3）	20,000人	5,000人
収容率（注3）	100%（注2）	大声なし（注4）：100% 大声あり（注4）：50%

注1：参加人数が5,000人超のイベントに適用。「感染防止安全計画」を開催2週間前までに県に提出すること。

注2：安全計画策定イベントでは、「大声なし」の担保が前提

注3：収容率と人数上限でどちらか小さいほうを限度（両方の条件を満たす必要）

注4：「大声」を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」と定義し、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントを「大声あり」に該当するものとする。

2. 適用日

- ・令和4年1月27日からまん延防止等重点措置が適用される期間

保育園等の対応について

I 保育所等の状況

	前回報告時	過去最大	直近
	2月4日現在	2月12日現在	2月17日現在
全休園	2施設	2施設	0施設
クラス閉鎖等	16施設	26施設	10施設

239施設

※対象施設 公私立認可保育園・認定こども園、地域型保育事業所、市立幼稚園

II 今後の対応について

未就学児の感染者の症状はほとんどが軽症であり、クラス休園等について減少傾向であるため、保護者の就労確保等社会生活を維持する観点から、引き続き感染防止策に努めながら原則開園とする。また、園内で感染者が確認された場合は必要に応じて、家庭保育協力依頼、クラス閉鎖、休園等の対応をとる。